

ANCA 関連血管炎の治療における PEXIVAS プロトコルの有用性に関する検討

1. 研究の対象

2019年4月から2021年3月までの間に大阪急性期・総合医療センター免疫リウマチ科でANCA関連血管炎に対して寛解導入療法を行った患者さん。

2. 研究目的・方法

「目的」：ANCA 関連血管炎に対して PEXIVAS プロトコル(ステロイドを早期に減量する治療方法)の有用性を検討する。

「方法」 疾患活動性やステロイド量、経過、有害事象などについて、過去の診療録を元に観察を行う。

「研究期間」倫理委員会承認後～2023年5月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：診断名、年齢、性別、治療内容、血液検査結果、経過 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター 免疫リウマチ科

研究責任者：主任部長 藤原弘士

電話 06-6692-1201